

こどもライブラリーつうしん



# ほんのまいの

# トペア

## 3月号

発行：所沢市立所沢図書館 本館

◆おはなしかい◆ (第2・3・4土曜日)

〔3月〕11・18・25日 ※ひとりできけるこ

📖 小さい子 4さいから 8 午後2時～2時30分

📖 大きい子 小学生から 8 午後3時30分～4時



◆親子おはなしかい◆ (第3金曜日)

〔3月〕17日 📖 乳幼児とその保護者 8 午前10時30分～

◆かがくあそび◆ (第1土曜日)

〔3月〕4日 「スーパー竹とんぼ」をつくろう!

🌟 先着15名(当日受付) 📖 小学生から

8 午前10時30分～11時30分

◆かみしばいのかい◆ (第1土曜日)

〔3月〕4日 📖 4さいから 8 午後2時30分～3時



★春休み工作教室★

プラスチックコップで万華鏡をつくろう!

〔3月〕30日(木)

くわしくはつぎのページをみてね★



# あたらしいほん



「人形の家」にすんでいたネズミ一家のおはなし」

マイケル・ボンド/文

エミリー・サットン/絵

早川敦子/訳

徳間書店 《Eサ》

【幼児、  
小学校1・2年から】

ネズミのペックさん一家は、お金もちのはくしゃくのおやしきにある人形の家で、しあわせにくらしていました。ところがある日、人形の家をどこかへうつすというはなしをきいてしまいました。子ネズミは「いいことを思いついた」といって…。

「カイとカイサのぼうけん」

カイとカイサがとびのったかれきは、まほうをかけられていました。「かれきドラゴン」となって、ふたりをのせたままそらへまいあがったのです。うみをこえて、ちいさなしまへつくと、ないているおひめさまにあいました。

エリサ・ベスコフ/さく・え

まつむらゆうこ/やく

福音館書店 《Eベ》

【小学校1・2年から】

「ふくはなからできてるの?」

佐藤哲也/文

綱中いつる/絵

福音館書店 《58》

【小学校3・4年から】

ふくのうらについている「タグ」に「ウール」ってかいてあったよ。「ウール」はヒツジの毛からつくられた「せんい」なんだ。糸の材料になる「せんい」には、それぞれちがったかたちや持ち味があるんだって。せんいのはみつをみてみよう!

はっこう：ところざわとしょかん ほんかん(こうこうこうえんない)

2017年3月1日 ☎04-2995-6311

まんげきょう  
プラスチックコップで万華鏡をつくろう!



【3月】30日(木) 午前10時30分～11時30分

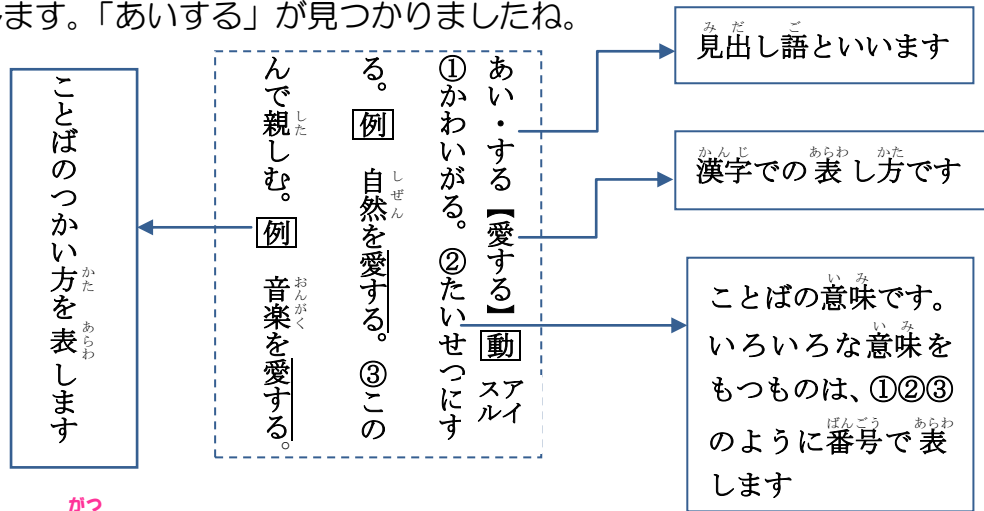
小学生(先着16名) ※3年生以下は保護者といっしょに参加

※3月7日(火) 午前9時30分～本館で申し込み開始。電話可。



としょかんきょうしつ  
◎図書館教室パート3「国語辞典を使ってみよう!」◎

本を読んでいると、意味がわからないことばが出てくることがあります。皆さんは、どうしますか。そんな時は、「国語辞典」が役に立ちます。たとえば「あいする」ということばを国語辞典で調べてみましょう。国語辞典は、ことばが五十音順にならんでいます。ことばを見つけるには、辞典の小口(背の反対側)に書いているかなを見ます。これを「つめ」といいます。「あいする」は、つめの「あ」のところを開いてさがします。「あいする」が見つかりましたね。



★3月におすすめのほん★

「ほとんほとんぼんのおと」 神沢利子 / さく 平山英三 / え 福音館書店《E7》

「たんぼぼ」 荒井真紀 / 文・絵 金の星社《47》

「ふきのとう」 甲斐信枝 / さく 森田竜義 / 監修 福音館書店《47》

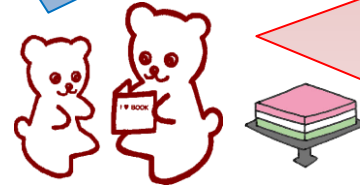


# おしえて! トベア

≪トベアがちょっとしたなぞをおしえてくれるよ。きみは知っているかな?≫



「ひな祭り」には、ひな人形をかざったり、あられを食べたり白酒を飲んだりするよ。「桃の節句」ともよばれ、女の子の祭りとして、今でも広く行われている行事だね。ひな祭りは、どのようにして生まれたんだろう?



むかし、都の貴族たちは、紙や木で人形を作り、その人形が病気やわざわいをかわりに持って行ってくれるようにいのって、川や海に流す習慣があったそうだよ。これに貴族の娘たちの間ではやっていた、「ひいな祭り」という人形遊びが結びついて、ひな祭りは生まれたんだ。

ひなだんに飾っているひしもちは、下からみどり、白、赤の順に重ねているね。この3色は、何をあらわしているのかな?

★この本でしらべてみよう!★

『かこさとしこどもの行事しぜんと生活 3月のまき』 かこさとし / 文・絵 小峰書店《38》

『子どもと楽しむ行事とあそびのえほん』 すとうあさえ / 文 さいとうしのぶ / 絵 のら書店《38》



2月号のこたえあわせ 節分はどうして豆まきをするんだろうね?

豆や米には雨風や日照りにまけずに一年間を乗り越えた、みのりの力がこもっていると考えられていたんだ。だから鬼をおいはらうのにつかわれたんだよ。

『かこさとしこどもの行事しぜんと生活 2月のまき』

かこさとし / 文・絵 小峰書店《38》

